

櫛引地域振興懇談会 令和7年度1回目意見対応

令和8年3月19日（木）14:00～

1. クマ対策について（産業建設課）

熊はまだ駆除されていないということだが、具体的に被害状況はどうなのか。赤川の河川敷の木の伐採なども考えてもらいたい。少し長い目で見ないといけないかもしれないが、国や県からも協力してもらわないとできないのではないかと思う。今後の対策は何か考えているのか。

（回 答） 被害額は、今積算している資料が無いので即答はできない。赤川の河川敷に箱罾を設置することも方法としてはあるが、河川敷の占用許可を取るのは、ものすごくハードルが高く、支庁や山形県にお願いして取り組んでいくことになると思う。熊が頻繁に出てくる侵入路をしっかりと押さえつつ、こちらにあるセンサーカメラ等で、しっかり熊の行動を把握しながら、次の手を打つようにしたい。

（対応状況） 櫛引地域における農作物の被害額は、66戸の農家で概ね150万円、他に樹木の枝折れ被害34件、ネット破損被害22件の報告を受けている。特に、赤川河川敷沿いの果樹園に被害が多くみられた。

また、赤川河川敷の木の伐採については、国と県に要望し、R7.10から三千刈地区の赤川左岸約1,250mを対象に実施した。未実施の箇所は、来年度以降も引き続き要望していきたい。

市としても、クマの移動ルートとなる河川敷沿いのやぶの刈払い支援、不要果樹伐採支援の拡充等、できる限りクマが人里に寄り付かない対策を講じるため、令和8年度は県と協力体制を組んで、有害鳥獣対策に関する補助金を増額して予算計上した。また、スマートフォンアプリを活用したリアルタイムの発信を取り入れ、迅速な情報提供も行いたいと考えている。

2. 櫛引の中心市街地について（総務企画課）

交通機関が充実していないというのも理由にあるが、病院に行くとか、買い物をするとか、そこに行ったらそのエリアで用が足せるというようなエリアがあるといいと思う。櫛引の中心市街地、核となる場所をどうするか、その辺の計画があると、市民と行政が一体になってまちづくりが進んでいくのではないかと思う。

（回 答） 地域公共交通計画を策定する予定なので、それまでに市民アンケートも行う予定で、皆様からの様々な意見を頂戴しながら、どういった方法が考えられるか、検討していきたいと考えている。

なかなか庁舎単位で都市計画的な整備計画を立てるのは難しい。市全体で、旧町村単位の核となる地域のインフラ的な整備計画を立てましょうという流れになっていけば可能性は出てくるが、そのような動きはない。

(対応状況) 地域公共交通計画では、当地域を交通ネットワーク構築のため各地域を結ぶ拠点エリアとして位置付けており、現在計画の見直しを行っている。

また、都市計画課でも、市街化区域やその周辺区域における病院や買い物などの機能、さらに公共交通・インフラなどの現状把握、役割などを分析することは必要と考えており、それを踏まえて、現在、土地利用や都市施設の整備に関する都市計画の方針を定めている鶴岡市都市再興基本計画（鶴岡市都市計画マスタープラン・鶴岡市立地適正化計画）の見直し作業に着手している。

3. 鶴岡南部エリア観光振興について（産業建設課）

鶴岡南部エリアだけではなく、もう一まわり広げたエリアでの観光ルートの考え方をいろいろ模索していかないといけないと思っているが、それに対するこの地域の進め方はどうあるべきと考えているのか。

(回答) 出羽三山を中核として、そこからいかに朝日、櫛引、黄金エリアに周遊して寄ってもらうか、というところを主に考えて観光協会の皆さんと勉強会をした。観光で来た方々を上手く櫛引エリアに足を運んで帰っていただくというような、体験コンテンツの実証事業を今年度11月頃に実施したいと考えている。

(対応状況) 11月に欧米出身の外国人が参加するモニターツアーを実施した。六十里越街道や金峯山でのトレッキング、黒川での庄内柿収穫体験のほか、本明寺の即身仏拝観や王祇会館での能面付け体験などを行った。

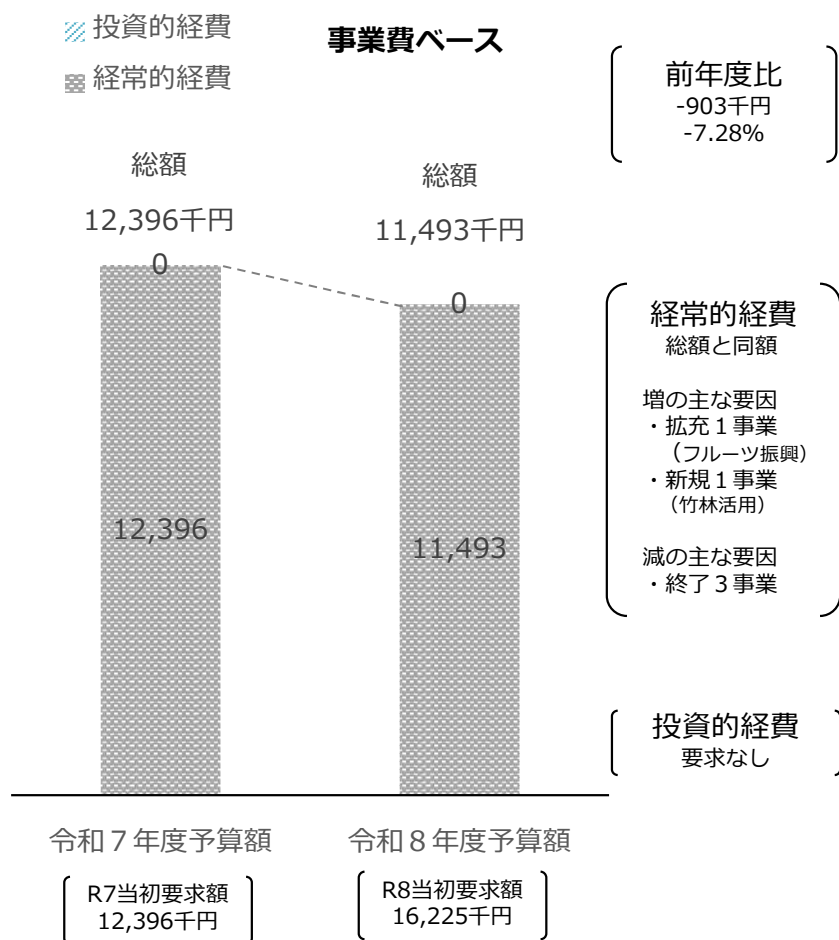
なかでも、参加者自ら収穫した庄内柿を干し柿にする体験は、地元農家と触れ合いながら楽しく作業を行うことができたこと、大変好評を得た。農作業体験をプラスした食文化体験は櫛引地域ならではの魅力として再認識した。

今後は、観光物産課と連携し、商談会向けデジタルパンフレットへ掲載し旅行商品造成につなげていくとともに、「インバウンド受入環境向上事業補助金」を観光施設から活用いただき、多言語表記を広めていきたいと考えている。

【予算の方針】

- フルーツ・黒川能・柏戸記念館・日帰り温泉施設などの地域資源を活かし、地域振興計画の3本の柱に基づき事業を実施する。
- 住民ニーズや費用対効果の低い2つの事業を取りやめ、業務効率の良いものを新規事業として始める。
- 継続事業は事業効果を顕現化するため、必要な予算は増額要求し、未執行が続いたり効果が見えにくい事業については、当年度中であっても取りやめや縮小を検討する。

(1) 対前年度比較



(2) 分野別対前年度比

単位：千円

①全体

	フルーツ・観光	歴史文化	地域づくり	計
R7予算額	5,553	4,440	2,403	12,396
R8予算額	5,206	4,561	1,726	11,493
比較増減	-347	121	-677	-903

②うち経常的経費

	フルーツ・観光	歴史文化	地域づくり	計
R7予算額	5,553	4,440	2,403	12,396
R8予算額	5,206	4,561	1,726	11,493
比較増減	-347	121	-677	-903

③うち投資的経費(要求なし)

	フルーツ・観光	歴史文化	地域づくり	計
R7予算額	0	0	0	0
R8予算額	0	0	0	0
比較増減	0	0	0	0

地域資源

- フルーツをはじめとする高品質の農産物
- 黒川能、丸岡城跡など歴史・文化資源
- 観光果樹園・スキー場・くしびき温泉
- 赤川・運動公園・馬渡の桜並木
- ふるさとむら宝谷・そば
- 横綱柏戸・彫刻家富樫実作品



地域課題

- 農業・伝統芸能の担い手（後継者）
- フルーツ等のブランド化
- 地域資源の活用・観光連携
- 交流人口・関係人口の拡大
- 地域コミュニティ基盤強化
- 地域リーダーの人材育成



櫛引地域振興計画 ～3本の柱～

基本方針 ①
フルーツの里づくりの推進と地域資源の観光連携による魅力度の向上

- (1) 果樹生産基盤の強化
- (2) フルーツの里ブランド化の推進
- (3) 体験型観光産業の振興
- (4) 地域資源を活用した観光振興の強化

基本方針 ②
黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

- (1) 民俗芸能の継承支援
- (2) 歴史文化の活用推進、観光連携

基本方針 ③
コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

- (1) 活力と持続のあるコミュニティの推進
- (2) 協働のまちづくりと地域の賑わい創出
- (3) 高齢者等の交通環境の支援
- (4) 健康で安全・安心な地域づくりの推進

事業（予算要求額）

- (1) くしびきフルーツ振興プロジェクト事業
 拡充 (6款：基金)
- (2) 横綱柏戸記念館活性化推進事業
 (7款：一財)

※観光分野の「ガイド養成」と「プロモーション」については、観光物産課事業（7款）で実施する。

事業（予算要求額）

- (1) 王祇会館竹林資源活用事業
 新規 (2款：基金+一財)
- (2) 櫛引地域歴史文化資源活用支援事業
 (2款：基金)
- (3) 黒川能保存伝承事業
 ※能楽青年交流事業を統合
 (10款：基金)

事業（予算要求額）

- (1) くしびき若者未来創造事業
 (2款：基金)
- (2) 櫛引地域花いっぱい運動環境美化推進事業
 (2款：基金)
- (3) くしびき温泉ゆ〜Town活性化事業
 (4款：一財)
- (4) くしびき秋の大感謝祭事業
 (7款：一財)

終了事業

- ・ たらのきだいなフェアパーク事業・丸岡城跡環境整備事業(駐車場整備)・黒川能アーカイブ事業・櫛引交通安全・防犯の日啓発事業・「空にかける階段」のイメージ事業・櫛引地域公共交通調査事業
- ・ 櫛引縦れ織り文化保存事業・「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業・櫛引地域いきいき健康活動拠点運営の支援事業・櫛引地域希少淡水魚保存事業(付替)・櫛引ドリーム交通導入事業(付替)
- ・ 櫛引ゆかりの偉人展開催事業・鶴岡市南部エリア観光周遊促進事業・櫛引地域都市農村交流促進事業・歴史文化施設が「イ」の整備事業 ※ R7で終了事業

基本方針① フルーツの里づくりの推進と地域資源の観光連携による魅力度の向上

事業効果

1. くしびきフルーツ振興プロジェクト事業【拡充】

・生産振興

- ▶ 樹園地継承支援チーム活動を継続、農作業受委託の仕組みづくり
- ▶ スマート農業の実践検討会の開催、ぶどう品評会など

・産地PR（情報発信）

- ▶ 動画制作、スタンプラリー、食べ比べイベントなど



フルーツ



作業受委託



品評会



学校給食



SNS発信



果樹産地の維持



ブランド力強化

基本方針② 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

事業効果

1. 櫛引地域歴史文化資源活用支援事業

・能面等を活用した新たな商品の試作品開発支援

- ▶ 試作品製作、ワークショップでの実証試験など



黒川能



商品開発



商品販売



財源確保

2. 王祇会館竹林資源活用事業【新規】

・竹林管理から生まれる副産物の利活用

- ▶ ものづくりワークショップ、孟宗掘り体験など



間伐管理



ワークショップ



体験メニュー



持続的な竹資源管理

基本方針③ コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

事業効果

1. くしびき温泉ゆ〜Town活性化事業

・新規利用者誘客策

- ▶ 託児入浴の試験的实施
- ▶ 卓球イベントの開催など

・既存客の利用促進策

- ▶ オリジナルスイーツの販売、孟宗汁のふるまい

・情報発信力の強化

- ▶ 組合公式SNSなど既存のプラットフォームを効果的に活用



ゆ〜Town



孟宗汁ふるまい



託児入浴



卓球イベント



SNS発信



利用者増加

事業連携

令和8年度 櫛引庁舎重点施策について

【注】

資料には令和8年度予算の内示額が掲載されていますが
3月市議会の議決を経て、正式に決定されるものです。



I. 地域振興事業

1. フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

- ①果樹生産基盤の強化 ②フルーツの里ブランド化の推進
③体験型観光産業の振興 ④地域資源を活用した観光振興の強化

No.	区分	事業名	事業内容	R8予算額 (単位：千円)	担当課	資料 (頁)
1	拡充	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	担い手の減少と高齢化により廃園となる樹園地が増加していることから、樹園地の第三者継承や果樹農家の営農継続に向けた取組を推進し果樹産地の維持拡大を図る。	4,756	産業建設	16
2	継続	横綱柏戸記念館活性化推進事業	横綱柏戸の偉業を知る地元の有志や産業観光スポーツ関係者と協働で本館の活性化策を検討し、自主的なイベント等で来館者を増加させ、地域振興や産業観光振興等を図る。	450	産業建設	16

2. 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

- ①民俗芸能の継承支援 ②歴史文化の活用推進、観光連携

No.	区分	事業名	事業内容	R8予算額 (単位：千円)	担当課	資料 (頁)
3	新規	王祇会館竹林資源活用事業	竹林の保全管理で生まれた孟宗や間伐材を活用する。ものづくりワークショップ開催など、伐採した竹を廃材として処分するのではなく、資源として有効活用することで、持続的な竹資源の保全と新たな財源確保策を創出する。	200	総務企画	10
4	継続	櫛引地域歴史文化資源活用支援事業	地元の企業や教育機関等と協力し、地域資源を活かした新たな高付加価値の商品を開発することで、財源の確保と地域の活性化を図る。7年度商品開発検討会で決定した商品案を試作し、ワークショップ等で商品化について検証する。 ※櫛引地域歴史文化施設収益性向上支援事業より名称変更	1,000	総務企画	11
5	継続	黒川能保存伝承支援事業	保存伝承研究会（歴史文化講演会など）開催支援や東小児童仕舞い指導による担い手育成、首都圏大学等の能楽合宿誘致、黒川能保存会運営補助金による支援を行う。 ※能楽青年交流事業を統合	3,361	総務企画	9

3. コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

- ①活力と持続性のあるコミュニティの推進 ②協働のまちづくりと地域のにぎわい創出
 ③高齢者等の交通環境の支援 ④健康で安全・安心な地域づくりの推進

No.	区分	事業名	事業内容	R8予算額 (単位：千円)	担当課	資料 (頁)
6	継続	くしびき若者未来創造事業	地域の若者を対象とした研修や討論を通じてまちづくりへの若者の参画を図るとともに、施策への反映や活動成果が上がるように取り組む。	500	総務企画	13
7	継続	櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	住民協働による市推奨花サルビア植栽活動で、美しく住みよい生活環境づくりを支援する。	350	総務企画	—
8	継続	くしびき温泉ゆ〜Town活性化事業	託児入浴やファミリー層向けイベント等の新たな付加価値を創出するとともに、情報発信を強化することで利用者の拡大と地域の活性化を図る。	676	市民福祉	15
9	継続	くしびき秋の大感謝祭事業	櫛引地域住民が集う「くしびき秋の大感謝祭」について、住民交流による賑わいの創出を図る事業として支援する。	200	産業建設	16



II. 主な施策（地域振興事業以外）

No.	区分	事業名・取り組み	事業内容	R8予算額 (単位：千円)	担当課	資料 (頁)
1	継続	榑引生涯学習センター管理運営事業	榑引生涯学習センターの管理運営	17,740	総務企画	11
2	継続	黒川能の里王祇会館管理運営事業	黒川能の里王祇会館の管理運営	10,743	総務企画	10
3	新規	黒川上座宝蔵庫増改築に対する支援	上座宝蔵庫が経年劣化による外壁の傷みや室内環境の改善を図るため、国庫補助を活用して工事負担を支援する。	5,398	総務企画	11
4	継続	広域自主防災組織の設立コミュニティのあり方検討・組織支援	指定避難所単位である東地区・西地区・南地区の広域自主防災組織合同で研修通し各地区防災計画を見直すとともに、榑引地域におけるコミュニティ組織のあり方の検討と組織を支援する。	225	総務企画	11
5	継続	地域づくりを支援するアドバイザー職員制度	アドバイザー職員制度を活用し、地域の主体的な取り組みに特化して重点的に支援する。	—	総務企画	12
6	継続	ケーブルテレビの運営	ケーブルテレビ事業及び榑引情報センターの管理運営	19,355	総務企画	—
7	新規	ケーブルテレビ放送設備更新事業	老朽化したケーブルテレビ放送設備について、R7年度の実施設計を基に、R8～10年度の3か年で機器の更新を行う。R8年度は榑引センター設備の更新を実施する。	275,200	総務企画	13
8	継続	若者グループによる活動への支援	くしびきこしゃってプロジェクト等への活動支援	—	総務企画	12
9	継続	榑引地域デマンド交通運営事業	高齢化社会の住民ニーズに沿った既存の公共交通を補完する新たな地域公共交通システムを構築する。赤川右岸地域で運行しているデマンドタクシー（会員制乗合タクシー）の継続支援を実施する。	6,100	総務企画	13
10	継続	榑引地域希少淡水魚保存事業	絶滅危惧種イバラトミヨの種の保存と、公開展示や情報発信等による生態系保全や環境保護の機運醸成を図る。	139	総務企画	—
11	継続	くしびき温泉ゆーTown管理運営事業	計画的な改修・修繕により、施設の安全性を確保するとともに、地域住民の健康福祉を増進する事業を積極的に展開し、さらなる利用拡大に努める。	77,360	市民福祉	15
12	継続	榑引たらのきだいスキー場管理運営事業	市街地から近いファミリースキー場として利用促進を図り、市民の健康増進、スポーツの振興と中山間地域の活性化に努める。	25,444	産業建設	16
13	継続	黒川能野外能楽第41回水焰の能	鶴岡市が誇る伝統芸能である国指定重要無形民俗文化財「黒川能」の演能を通じて、伝統文化の保存伝承の機運を高める。また、交流人口の拡大を図り、地域振興に資する。	4,793	産業建設	17
14	継続	小規模修繕事業	故障や老朽化した施設・設備・備品等の修繕・更新を実施する。 ※榑引管内施設全体の合計額	10,000	全課	—

各課の主な取組

【総務企画課】

(1) 丸岡城跡史跡公園管理運営事業 …2,902 千円

山形県史跡丸岡城跡と鶴岡市有形文化財「日向家住宅」を移築復元したガイドンス施設「楽朋館」を保存、活用して、文化財保護の普及と啓発を図りながら、地域の歴史や伝統文化の継承活動、観光誘客などに活かして地域活性化を推進する。

- ・ 楽朋館を含む丸岡城跡史跡公園の管理運営
- ・ 荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会の支援
- ・ 楽朋館外壁修繕
- ・ 特別企画「丸岡城跡出土品展示」(4/4～11/30)
- ・ 竹あかりの制作、展示(生涯学習センターと連携)
「清正公祭」に合わせて期間限定で
展示予定(6月中旬～下旬)



史跡公園利用状況

※R7は2月末時点(単位:人)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
史跡公園	1,951	787	1,035	1,401	1,172	1,044	1,131
ガイドンス施設	1,333	295	491	404	531	530	421

(2) 黒川能保存伝承支援事業【地域振興事業】…3,361 千円

櫛引東小学校児童への仕舞や囃子の指導と練習成果の発表などを通じて、伝統芸能への誇りや郷土愛を育み、後継者育成につながる事業を支援する。

また、黒川能に関する歴史文化講演会などによる「黒川能保存伝承研究会」を開催し、首都圏大学等から能楽合宿を誘致することで、交流・関係人口の増加・保存伝承に対する機運の醸成を図るとともに、体験型観光を促進するための体験メニュー化を実施する。

さらに保存伝承を担う公益財団法人黒川能保存会が安定した運営となるよう支援する。

- ・ 後継者育成事業
- ・ 第17回黒川能保存伝承研究会の開催
- ・ 黒川能保存会運営補助金による支援
- ・ 王祇会館で面・装束の着付け体験メニューの支援
- ・ 首都圏大学等の能楽合宿誘致



保存伝承研究会参加者 (単位：人)

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
100	70	60	50	50	中止	中止	35	76	57	60

能楽合宿参加者

H28	法政大学能楽研究会	学生 11名 師範 1名	3泊4日
H29	國學院大學観世会	学生 11名 師範 1名	5泊6日
H30	東京藝術大学能楽専攻	学生 7名 師範 1名	4泊5日
R元	國學院大學観世会	学生 11名 師範 1名	3泊4日
	東京大学宝生会	学生 9名 (学生のみ)	2泊3日
R2~R7	コロナ禍及び希望団体がなく中止		

(3) 黒川能保存伝承組織の支援 …505千円

黒川能の保存伝承について、就業構造の変化や少子高齢化が進行する環境の中にあつて、意欲的な活動を展開している「黒川地区農業村落振興会」や「黒川能上座・下座」に対して、安定した組織運営となるよう継続して支援する。

- ・黒川地区農業村落振興会後継者育成事業補助金 (社教)
- ・黒川能保存会事業補助金 (社教)

(4) 王祇会館竹林資源活用事業【地域振興事業】 …200千円

黒川能舞台で使用する竹を採取している竹林を保全管理するなかで発生する孟宗や間伐材を活用する。ものづくりワークショップ開催など、伐採した竹を廃材として処分するのではなく、資源として有効活用することで、持続的な竹林の保全と新たな財源確保策を創出する。

(5) 黒川能の里王祇会館管理運営事業 …10,743千円

指定管理者である公益財団法人黒川能保存会に施設の管理運営を委託するとともに、指定管理者が開催する定期展示や企画展示等により全国に黒川能を発信する拠点施設として伝統芸能の振興を図る。



王祇会館利用状況

※R7は2月末時点 (単位：人)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
全 体	11,033	4,243	5,184	5,897	9,591	8,187	8,778
うち展示室	1,986	897	977	1,066	1,327	1,357	1,339

(6) 歴史文化資源活用支援事業【地域振興事業】…1,000千円

地元の企業や教育機関等と協力し、地域資源を活かした新たな高付加価値の商品を開発することで、保存継承団体の財源の確保と地域の活性化を図る。

- ・令和7年度商品開発検討会で決定した商品案を試作し、ワークショップ等で商品化について検証する。
- ▶鶴岡高専から能面の3Dスキャンと商品提案してもらい、そのデータを活用し地元企業が製造



(7) 黒川上座宝蔵庫増改築に対する支援…5,398千円

黒川上座宝蔵庫は、国重文能装束である紅地蜀江文黄緞狩衣、白地草花海賦文辻が花染肩裾小袖をはじめ、演能の際に使用する、面、能装束、小道具等を保管している建物である。

既存の建物は平成3年に整備され、道具類を保管するスペースが狭く、経年劣化による外壁の傷みや室内環境が悪化していることから、増築工事と併せ外壁張替えと天井・床下の断熱補強工事を行うことで保管環境と防火機能を改善する。



- ・重要文化財能装束収蔵庫防災整備工事…1,980千円（1/2 国庫補助）
- ・黒川能上座宝蔵庫改修事業…3,418千円（市単補助）

(8) 櫛引生涯学習センター管理運営事業 …17,740千円

指定管理者である櫛引地域生涯学習振興会に施設の管理運営を委託するとともに、指定管理者が開催する生涯学習講座やくしびき文化祭等により生涯学習の振興を図る。



櫛引生涯学習センター利用状況

※R7は2月末時点

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用件数	905	628	705	803	91	827	879
利用人数	17,222	12,869	13,630	18,072	1,554	21,196	19,809

※R5は5/8から3/21まで貸館停止

(9) 広域自主防災組織の設立、コミュニティのあり方検討・組織支援 …223千円

平成28年度に検討された「櫛引地域の広域コミュニティは中学校区に一つ」の方針を基に、櫛引地域におけるコミュニティのあり方の検討を進める。

令和4年度に「近年の自然災害の激甚化・大規模化を受け、指定避難所単位である東地区・西地区・南地区の3地区の防災計画を策定し、広域自主防災組織の設立した」各組織の実情にあわせて、それぞれ見直しを実施し、組織の醸成を図る。

また、人口減少高齢化社会が進み、今後、地区（単位自治組織）役員の担い手や事業・活動維持が困難になると想定されるため、令和5年度からはコミュニティ支援に知見を有するアドバイザーを招聘してワークショップを開催するなど、関連団体等、地域住民の意見を広く聞きながら櫛引地域の将来におけるコミュニティのあり方や組織の検討などを支援している。

（10）公民館類似施設整備事業

公民館類似施設（自治公民館）の整備を図るため、施設を運営する団体に対し予算の範囲内で補助金を交付する。（令和8年度は地区からの要望なし）

（11）若者グループによる活動への支援

平成28年11月に「2016やまがた公益大賞」、令和元年12月に「令和元年度「輝けやまがた若者大賞」、令和2年11月に「令和2年度「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」内閣府特命担当大臣表彰」を受賞した、くしびきこしゃってプロジェクトが季節ごとに開催する「こしゃってマルシェ」など、地域の魅力を高める活動を支援する。



（12）地域づくりを支援するアドバイザー職員制度

「地域ビジョン策定」などに取り組む地区に対し、取り組みの分野に通じた市の職員が関わりをもって支援する。H30までの地区担当職員制度のように全地区へ一律に職員を配置するのではなく、地域の主体的な取組に特化して重点的に支援を行う。

R4	依頼地区	3地区（丸岡・宝谷・馬渡）
R5	依頼地区	無し（相談地区：1地区）
R6	依頼地区	1地区（下山添）
R7	依頼地区	1地区（丸岡）

（13）市民まちづくり活動促進事業（鶴岡まち活）

市民が主役のまちづくりを推進し、将来的な協働の担い手の発掘と人材育成を図るため、多様なまちづくり活動と市民と行政との協働を促進する。

- ・まちづくり事業に対する補助金の交付等
- ・まちづくりと協働について学ぶ研修会等の開催
- ・優良事例等のデータベースの整理と公表



R4	申請件数	1件（黒川・蠟燭能実行委員会）
R5	申請件数	1件（丸岡・観光ガイドの会）
R6	申請件数	相談1件
R7	申請件数	1件（櫛引青年サークルくしびギン!）

(14) くしびき若者未来創造事業【地域振興事業】…500千円

櫛引地域の若者による研修や交流等を通じて、若者が地域のまちづくりに参画する機会をさらに創出し、既存の若者団体や櫛引生涯学習センターとも連携・協力しながら、地域づくりを担う人材の育成を図っていく。

令和2年度から気軽に話し合う場として、若者が地域づくりに関わるきっかけとなるワークショップ「かたりばくしびき」を開催し、令和6年度に「くしびきにあかりをともしようプロジェクト実行委員会」を発足した。

- ・R7 ①WORK WORK カフェ (参加者 16名)
➤若手事業者×学生のワークショップ
- ②竹あかりづくり (参加者 11名)
- ・R8 は構成団体が実施する地域活性化や人材育成を図る取組を支援



(15) 櫛引地域デマンド交通運営事業 …6,100千円

櫛引の赤川右岸地域全体のデマンド型の公共交通を継続し、高齢者等の交通手段を持たない住民の日常生活を支援するとともに交通空白域を解消する。

- ・利用者の予約に応じて運行するデマンドタクシーの通年運行
- ・デマンド交通の運営主体である櫛引地域デマンド交通運営協議会の運営
- ・利用登録者、利用率増への取組

※令和8年1月末現在

登録者数84人 実利用者数40人

延べ利用者数530人



(16) 櫛引地域交通安全・防犯啓発事業

令和元年度に一斉更新した毎月一日の「交通安全・防犯の日」の黄色い小旗掲揚運動を中心に、交通事故・犯罪のない安全で安心な地域づくりを推進する。

- ・警察や櫛引地域内の交通安全・防犯団体と連携した各種啓発活動の実施
- ・小旗掲揚運動の推進
- ・小旗の掲揚数調査を継続実施



(17) ケーブルテレビ放送設備更新事業…275,200千円

老朽化したケーブルテレビ放送設備について、R7年度の実施設計を基に、R8～10年度の3か年で機器の更新を行う。R8年度は櫛引センター設備の更新を実施する。

[施工箇所]

- ・R8 櫛引情報センター：ヘッドエンド・光送信設備、受信設備（アンテナ）
➤国庫補助申請中（1/2補助）
- ・R9 朝日中継基地設備更新
- ・R10 ONU機器更新他

(1) 健康づくり、介護予防事業の推進

住民の健康や福祉について、地域全体で取り組んでいくという意識の啓もうを図るとともに、健康寿命の延伸に向けて、保健福祉推進員や食生活改善推進員と連携し、がん検診及び健診の受診率向上と生活習慣病予防を推進する。

また、高齢者が身近な地域の中で主体的かつ継続的に介護予防と健康の保持増進に取り組むことができるよう支援するとともに、家族介護者について心身の健康を支えていく。

- ・「くしびき健康と福祉のつどい」の開催
- ・各地区健康教室の開催（櫛引地域保健福祉推進員会と共催）
- ・KCT番組「健康ワンポイント」及び「みんなの貯筋(ちょきん)体操」、「毎日おうち体操」（櫛引・朝日版テレビ体操）の放映
- ・家族介護者交流のつどいの開催



くしびき健康と福祉のつどい
健康チェックコーナー

(2) 子育て支援の推進

子どもの健全な発達・発育を支援するために産褥期及び全乳児家庭訪問や定期育児相談を開催する。また、教育心理カウンセラーによる保育園巡回相談や子育て支援連絡協議会等を開催し、切れ目のない子育て支援を効果的に実施する。

全市事業として実施している「ことばの教室」については、関係機関等との連携により就学前児童の言語環境の改善が図られるように実施する。

- ・櫛引子育て支援連絡協議会の開催
- ・ことばの教室の開催（こども家庭センター主管）

(3) 高齢者が生きがいをもって安心して生活できる地域づくりの推進

老人クラブ等住民主体の活動への支援や、長寿祝品の伝達等地域の高齢者を対象とした各種事業の実施を通して、高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進する。

また、避難行動要支援者支援システムの運用により、地区区長や消防櫛引分署等関係機関が密接に連携しながら高齢者の安全・安心な暮らしを支える取組を進める。

さらに、保健福祉推進員会が取り組んでいる「くしびき安心カード」について、必要な支援を行う。

- ・老人クラブの活動支援（スポーツ大会等の運営補助や補助金交付等）
- ・避難行動要支援者支援システムの運用保守
- ・「くしびき安心カード」事業運営に対する支援
- ・健康講座等の「お役立ち講座リスト」を作成し老人クラブや通いの場団体等に配布する。



(4) 環境保全活動の推進

地域住民の快適な生活環境を保全するため、櫛引地区環境保全推進員協議会と連携を図りながら不法投棄防止パトロールをはじめとする各種の取り組みを積極的に実施する。また、櫛引地域環境保全事業補助金等の活用を呼びかけ、快適な生活環境の保全に向けた住民の主体的な活動を支援する。さらに、ごみの適正な分別及び出し方の指導並びに集団資源回収や紙資源拠点回収を通じ、ごみの減量化を推進する。

- ・不法投棄防止パトロールや野焼き防止指導の実施
- ・粗大ごみの集団回収事業（春・秋）の実施
- ・ゴーヤグリーンカーテンの普及啓発事業の実施
- ・環境美化デー「地区内一斉クリーン作戦」の実施
- ・油流出事故防止対策の啓発
- ・櫛引地域環境保全事業補助金等の活用



くしびき健康と福祉のつどい
環境コーナー（環境クイズ・工作）

(5) くしびき温泉ゆ一Town 管理運営事業 …77,360 千円

施設整備後 30 年以上経過し老朽化していることから、計画的な改修・修繕を実施し、安全・安心に利用できる施設の管理運営を管理運営組合と連携して進める。また、フレイル予防事業を積極的に展開することにより、施設の利用拡大と、地域住民の健康増進を図る。

(6) くしびき温泉ゆ一Town 活性化事業【地域振興事業】 …676 千円

健康増進施設である「くしびき温泉ゆ～Town」の新たな付加価値を創出し、利用者の拡大と、情報発信力の強化による施設運営によって収益性の向上を図る。

- ・ベビールームを活用した託児入浴の試験的实施
- ・ファミリー卓球教室、スリッパ卓球大会の開催
- ・卓球ポイントカード企画の実施
- ・地域の菓子店と連携したゆ～たんオリジナルスイーツの考案
- ・情報発信力の強化



ゆ一Town に新たに設置されたベビールーム

[産業関係]

(1) くしびきフルーツ振興プロジェクト事業【地域振興事業】…4,756千円

担い手の減少と高齢化により廃園となる樹園地が増加していることから、樹園地の第三者継承や果樹農家の営農継続に向けた取組を推進し果樹産地の維持拡大を図る。

○生産振興を図るための取組み

- ・ 櫛引地域における離農樹園地の円滑な継承の推進
- ・ 農作業受委託の仕組みづくり（さくらんぼ雨よけハウス）
- ・ 学校給食への櫛引産「やまがた紅王」の提供
- ・ 栽培技術の向上を目的とした果樹の品評会の開催
- ・ 省力化、高品質化を見据えたスマート農業の実践検討会の開催



○産地PR（情報発信）の取組み

- ・ 大産業まつり等へのイベント出展と農産物販売
- ・ 櫛引産フルーツを提供する飲食店のスタンプラリーを実施
- ・ 櫛引フルーツ動画を制作し、SNSで情報配信



○フルーツの里推進員雇用

- ・ 主に産地PR（情報発信）を担当する推進員1名を雇用

(2) くしびき秋の大感謝祭事業【地域振興事業】…200千円

櫛引地域住民が集う「秋の大感謝祭」について、住民交流による賑わいの創出を図る事業として支援する。

なお、これまでの夏の開催から「水焰の能」と同時開催とすることで集客等の相乗効果を図る。



(3) 横綱柏戸記念館活性化推進事業【地域振興事業】…450千円

横綱柏戸の偉業を知る地元の有志や、産業観光スポーツ関係者と協働で本館の活性化策を検討し、自主的なイベント等で来館者を増加させ、地域振興や産業観光振興等を図る。

- ・ 相撲大会や講話会に対する支援



(4) 櫛引たらのきだいスキー場管理運営事業 …25,444千円

市街地から近いファミリースキー場として利用促進を図り、市民の健康増進、スポーツの振興と中山間地域の活性化に努める。

- ・ 市直営によるスキー場の管理運営



(5) 第41回黒川能野外能楽水焰の能…4,970千円

鶴岡市が誇る伝統芸能である国指定重要無形民俗文化財「黒川能」の演能を通じて、伝統文化の保存伝承の機運を高める。また、交流人口の拡大を図り、地域振興に資する。



[建設関係]

- (1) 道路維持事業（交通安全施設整備） - 千円 ※本所予算調整中
- No. 1 松根羽黒線（たらのき代） 【防護柵】
 - No. 2 宮の下桃平線（黒川） 【区画線】
- (2) 道路新設改良事業 - 千円 ※本所予算
- No. 3 板井川鳥類草沢線（板井川） 【歩道整備協議】※関係機関との協議
- (3) 橋梁新設改良事業 17,000千円 ※本所予算
- No. 4 三千刈成沢線（黒川橋） 【橋梁撤去協議】※関係機関との協議
 - No. 5 馬渡西線（中川橋） 【測量設計】
 - No. 6 谷地田柳沢線（柳沢橋） 【測量設計】
- (4) 道路公共事業（辺地） 15,000千円 ※本所予算
- No. 7 宮の下宝谷線（宝谷） 【現道拡幅】

王祇会館竹林資源活用事業

令和8年度予算額 200千円
 (令和7年度当初予算額 0千円)

事業概要・目的

○目的

- ・黒川能舞台で使用する竹材の確保
- ・保安全管理により副産物として生まれる間伐材や孟宗などの有効活用

○概要

王祇会館にある竹林は黒川能の舞台で利用する竹の採取場所であるが、十分な管理ができていないことから不整形な竹が多い。そのため、指定管理者による竹材の保安全管理を徹底することが必要である。



王祇会館指定管理業務 ➤ 竹林の保安全管理の徹底（地域住民と連携）

副産物として生まれる孟宗や間伐材の有効利用

王祇会館竹林活用事業補助金

- 竹資源活用（ワークショップ、体験メニュー）



事業イメージ・具体例

○王祇会館竹材資源活用事業

竹林保安全管理の副産物である孟宗、間伐材を有効活用するため、間伐材を用いたものづくりワークショップ等を実施する。

これにより伐採した竹林に付加価値を与え、今後の持続的な竹林保安全管理を創出するほか、加工品開発に挑戦し新たな財源確保を目指す。

【実施主体】

- ・黒川能保存会

【実施内容】

- ・間伐材の活用（200千円）
 - ものづくりワークショップ
 - ※竹あかり、孟宗汁作りなど
 - 竹製品（メンマなど）
 - ※櫛引産メンマの試作に挑戦



王祇会館の竹林



ワークショップ
（くしあかPJ）

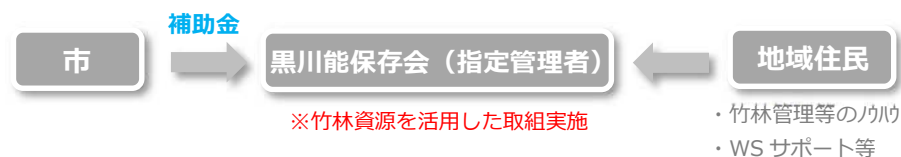


竹あかり展示
（くしあかPJ）



メンマ
（遊佐 放棄竹林対策）

資金の流れ



期待される効果

- ・竹林の保安全管理により良質な竹の栽培環境が改善される。
- ・加工品開発を行い、商品化し新たな財源を確保できる。

くしびきフルーツ振興プロジェクト事業

令和8年度予算額 4,756千円

(令和7年度当初予算額 4,336千円)

事業概要・目的

○目的

生産振興と産地PRにより、「フルーツの里」のブランド力強化に取り組む。担い手の減少や高齢化により廃園となる樹園地が増加していることから、樹園地の第三者継承や果樹農家の営農継続に向けた取組を推進し果樹産地の維持拡大を図る。

○概要

生産振興を図るための取組み

- ・ 櫛引地域における離農樹園地の円滑な継承の推進
- ・ 農作業受委託の仕組みづくり（さくらんぼ雨よけハウス）
- ・ 学校給食への櫛引産「やまがた紅王」の提供
- ・ 果樹の品評会の開催
- ・ スマート農業の実践検討会の開催

産地PR（情報発信）の取組み

市内外イベントへの出展と農産物販売 等

○実施主体

櫛引地域産業振興プロジェクト推進協議会

- 協議会で「フルーツの里推進員」を雇用し、事業を推進

事業イメージ・具体例

1. 生産振興を図るための取組み

- ・ 櫛引地域における離農樹園地の円滑な継承の推進 [継続]
- 樹園地継承支援チームの活動を継続（地域計画の見直しを行う）
果樹農家と関係団体（産直・農業委員・JA・行政）が連携しながら樹園地の第三者継承のモデル事例を構築
- 「鶴岡市樹園地継承マッチングデータベース」への登録を促進
- 園地継承の対象エリアを拡大（西荒屋のぶどう、東荒屋の和梨、三千刈のりんごなど）
- ・ 農作業受委託の仕組みづくり（さくらんぼ雨よけハウス） [継続]
- 限られた労働力を地域内で融通することで、大規模果樹経営体の育成や果樹農家の営農継続を後押しする
- ・ 学校給食への櫛引産「やまがた紅王」の提供 [継続]
- 櫛引地域の小中学校4校の生徒に提供
- ・ 栽培技術の向上を目的とした果樹の品評会の開催 [新規]
- ・ 省力化・高品質化を見据えたスマート農業の実践検討会の開催 [新規]

2. 産地PR（情報発信）の取組み

- ・ 大産業まつり等へのイベント出展と農産物販売 [継続]
- ・ 櫛引産フルーツを提供する飲食店のスタンプラリーを実施 [新規]
- ・ 櫛引フルーツ動画を制作し、SNSで情報配信 [新規]

3. フルーツの里推進員雇用

- ・ 主に産地PR（情報発信）を担当する推進員1名を雇用 [継続]

資金の流れ



期待される効果

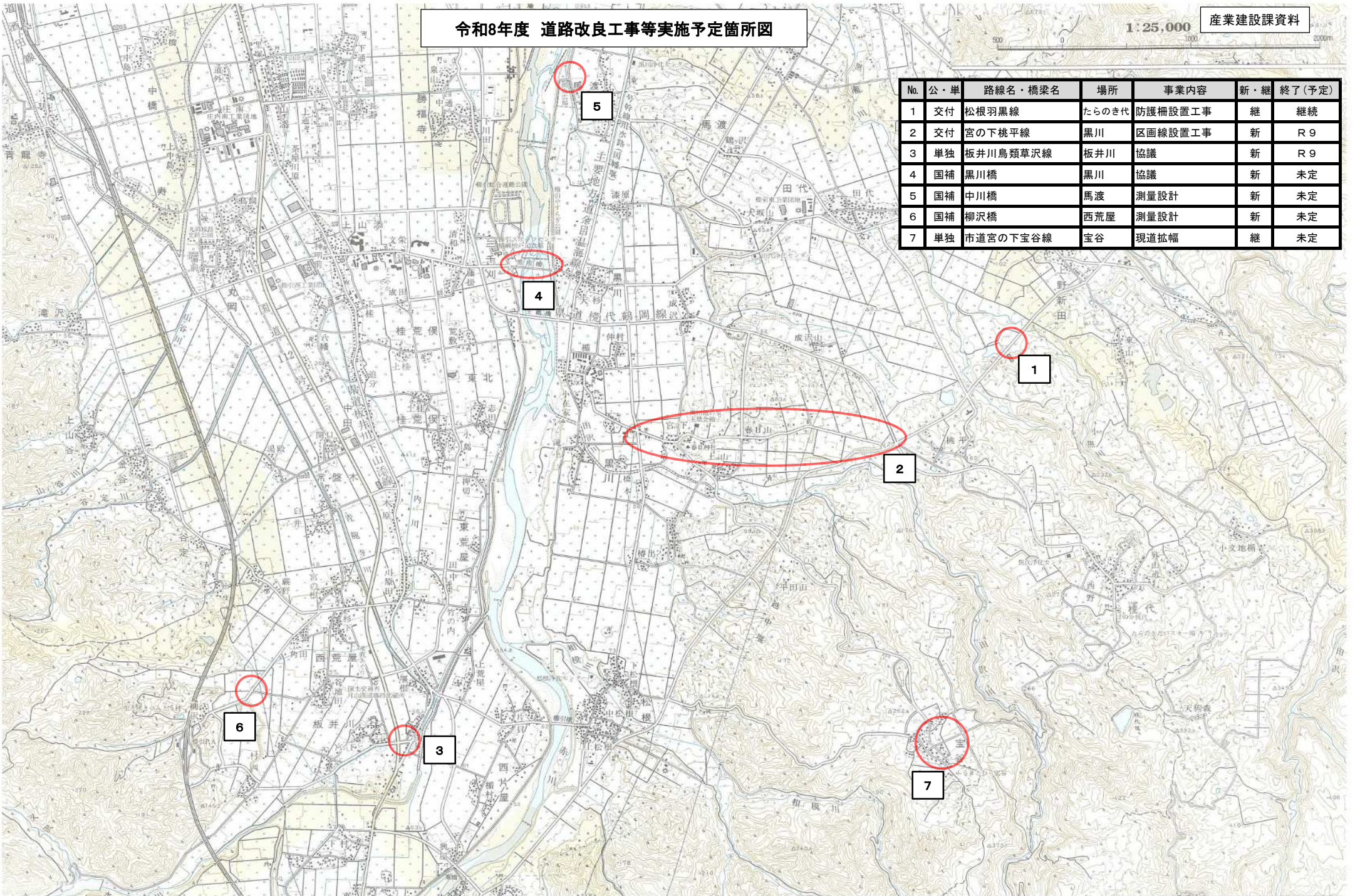
生産振興と産地PRによる「フルーツの里」のブランド力の強化
第三者への円滑な樹園地継承による庄内随一の果樹産地の維持拡大

令和8年度 道路改良工事等実施予定箇所図

1:25,000

産業建設課資料

No.	公・単	路線名・橋梁名	場所	事業内容	新・継	終了(予定)
1	交付	松根羽黒線	たらのき代	防護柵設置工事	継	継続
2	交付	宮の下桃平線	黒川	区画線設置工事	新	R 9
3	単独	板井川鳥類草沢線	板井川	協議	新	R 9
4	国補	黒川橋	黒川	協議	新	未定
5	国補	中川橋	馬渡	測量設計	新	未定
6	国補	柳沢橋	西荒屋	測量設計	新	未定
7	単独	市道宮の下宝谷線	宝谷	現道拡幅	継	未定



令和7年度 地域まちづくり未来事業事業進捗（予算計上事業）と令和8年度予算 [榎引庁舎]

整理NO.	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	R7事業内容（進捗状況）	R7予算額（千円）	R8事業計画	R8予算額（千円）
1	産業建設課	基本方針（1） フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ○樹園地継承支援チームの活動 <ul style="list-style-type: none"> ・果樹農家と関係団体（産直・農業委員・JA・行政）が連携しながら樹園地の第三者継承のモデル事例を構築 ○榎引地域における離農樹園地の円滑な継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・西片屋地区（さくらんぼ）を樹園地継承のモデル地区として設定し、地区での話し合い（地域計画の見直し）を進めながら、後継者がいない離農予定者と地区外の農業法人とのマッチングが1件成立 ・地区外の新規参加者や規模拡大を志向する果樹経営中心の農業法人からの照会件数を増やすため、11月から「鶴岡市樹園地継承マッチングデータベース」を市のホームページで公開 <ul style="list-style-type: none"> ※登録件数：8件（さくらんぼ3件、柿5件） ○学校給食へ榎引産「やまがた紅王」の提供（榎引中学校） <ul style="list-style-type: none"> ※榎引地域小学校には県が提供 ○フルーツ食べ比べイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・6～11月 計8回、延べ122名参加 ○SNSを活用した果樹生育状況とフルーツ食べ比べイベントの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・投稿数：58件 	4,336	<ul style="list-style-type: none"> ○生産振興を図るための取組み <ul style="list-style-type: none"> ・榎引地域における離農樹園地の円滑な継承の推進 [継続] <ul style="list-style-type: none"> ▶樹園地継承支援チームの活動を継続（地域計画の見直しを行う） 果樹農家と関係団体（産直・農業委員・JA・行政）が連携しながら樹園地の第三者継承のモデル事例を構築 ▶「鶴岡市樹園地継承マッチングデータベース」への登録を促進 ▶園地継承の対象エリアを拡大（西荒屋のぶどう、東荒屋の和梨、三千刈のりんごなど） ・農作業受委託の仕組みづくり（さくらんぼ雨よけハウス） [継続] <ul style="list-style-type: none"> ▶限られた労働力を地域内で融通することで、大規模果樹経営体の育成や果樹農家の営農継続を後押し ・学校給食への榎引産「やまがた紅王」の提供 [継続] <ul style="list-style-type: none"> ▶榎引地域の小中学校4校の児童生徒に提供 ・栽培技術の向上を目的とした果樹の品評会の開催 [新規] ・省力化、高品質化を見据えたスマート農業の実践検討会の開催 [新規] ○産地PR（情報発信）の取組み [継続] <ul style="list-style-type: none"> ・大産業まつり等へのイベント出展と農産物販売 ・榎引産フルーツを提供する飲食店のスタンプラリーを実施 [新規] ・榎引フルーツ動画を制作し、SNSで情報配信 [新規] ○フルーツの里推進員雇用 [継続] <ul style="list-style-type: none"> ・主に産地PR（情報発信）を担当する推進員1名を雇用 	4,756
2	産業建設課	基本方針（1） フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上	網戸記念館活性化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 相撲大会の開催を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・横綱柏戸記念学童相撲大会 開催日 令和7年9月20日（土） 参加者 鶴岡市内小学生男子児童21人 	450	横綱柏戸・鏡山親方の偉業を知る地元有志や産業観光スポーツ関係者の方々と協働で相撲大会や特別展・講話会等を行い来館者を増加させ、地域振興や産業観光振興等を図る事業として支援する。	450
3	産業建設課	基本方針（1） フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上	都市農村交流促進事業	補助目的である販路拡大を達成することができないことから交付を見送る。	174	※事業完了	0
4	産業建設課	基本方針（1） フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上	鶴岡市南部エリア観光周遊促進事業	令和6年度鶴岡市南部広域ツーリズム調査で得た知見を踏まえ、鶴岡市南部広域観光商品造成支援業務を庄交コーポレーションに委託。観光関係者と協議しながらモニターツアーを実施し、実践的な商品造成プロセスと提案体制を構築し、誘客の取組を実効性のあるものにすることができた。	1,043	※事業完了	0
5	総務企画課	基本方針（2） 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進	王祇会館竹林資源活用事業			<ul style="list-style-type: none"> 能舞台で使用する竹の採取場所である王祇会館敷地内の竹林を保全管理することで、副産物として生まれる間伐材や孟宗などの有効活用を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ事前調整（3月） ・補助金交付、ワークショップ案内（4月） ・ワークショップ実施、孟宗汁振舞い等（5月） 	200

令和7年度 地域まちづくり未来事業事業進捗（予算計上事業）と令和8年度予算 [榎引庁舎]

整理NO.	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	R7事業内容（進捗状況）	R7予算額（千円）	R8事業計画	R8予算額（千円）
6	総務企画課	基本方針（2） 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進	榎引地域歴史文化資源活用支援事業	地元の企業や教育機関等と協力し、地域資源を活かした新たな高付加価値の商品を開発することで、財源の確保と地域の活性化を図る。 ・検討会の開催（7/1、10/8、2/18） ・高専授業でのプレゼン見学 ・高専提案商品の試作が可能かどうかの検証	870	・試作品開発支援 ▶試作品の制作や7年度商品開発検討会で決定した商品案を試作し、ワークショップ等で商品化について検証する。	1,000
7	総務企画課	基本方針（2） 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進	黒川能保存伝承支援事業	・第16回保存伝承研究会（9/14地元団体等による講話、パネルディスカッション）の開催支援 ・東小児童仕舞い指導等の担い手育成 ・保存会運営補助 ・着付け体験メニューの実施	2,961	・保存伝承研修会（歴史文化講演会等）開催支援 ・東小児童仕舞い指導等の担い手育成 ・保存会運営補助 ・着付け体験メニューのPR ・学生・青年層等の能楽合宿の誘致による地元住民・若手能役者との交流、農業体験、観能の実施	3,361
8	総務企画課	基本方針（2） 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進	能楽青年交流事業	学生・青年層等の能楽合宿の誘致による地元住民・若手能役者との交流、農業体験、観能の実施 ・保存会を通じ、各大学能楽サークルの現状を聴き取り、別事業への切り替え等の検討（5月～9月） ・國學院大学サークル師範より、参加希望あり（10月） ・國學院大学サークルの師範と大学生に聴き取り、来年度20名ほどの参加希望あり（11月）	400	※黒川能保存伝承支援事業へ統合	0
9	総務企画課	基本方針（2） 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進	榎引地域歴史文化施設ガイダンス整備事業	インバウンドに対応する環境整備の推進を図る。 ・黒川能紹介動画多言語化業務委託契約（7月） ▶王祇会館の視聴覚室で放映する紹介動画に英語字幕テロップを付ける。 ・黒川能紹介動画多言語化業務委託完了（8月）	209	※事業完了	0
10	総務企画課	基本方針（3） コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進	くしびき若者未来創造事業	・地域の若者等を対象としたワークショップを開催 ▶くしびきWORK WORKカフェ 10/25開催（22名参加） ・竹あかりづくりワークショップ ▶黒川能の里にあかりをともそう 11/23開催（15名参加） ▶王祇祭に合わせ王祇会館に展示 1/30～2/3	623	・地域の若者等を対象としたワークショップを開催 ▶交流会、イベントリーフレットの制作 ・各団体の活動支援 ▶地元中高生が参画するイベント開催等を支援	500
11	総務企画課	基本方針（3） コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進	花いっぱい運動で環境美化推進事業	住民協働による植栽活動で榎引らしい住みよい生活環境を構築する取組への支援する。 ・国道112号四車線区間へのサルビア植栽と肥培管理 ▶5/24植栽（99人参加）、11/7撤去（59人参加） ・12地区の参加で花いっぱい運動とコンクールの実施 ▶8月27日審査会（宝谷辞退） ▶9月18日表彰状贈呈式 第1部（苗数300本以上） 優秀賞：たらのき代、優良賞：丸岡、努力賞：常盤木 第2部（苗数300本未満） 優秀賞：西片屋、優良賞：東南、努力賞：黒川上	350	榎引花と緑の会が実施するサルビアの植栽活動への支援補助 ・国道112号四車線区間へのサルビア植栽と肥培管理 ・13地区の参加による花いっぱい運動とコンクールの実施	350

令和7年度 地域まちづくり未来事業事業進捗（予算計上事業）と令和8年度予算 [楡引庁舎]

整理NO.	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	R7 事業内容（進捗状況）	R7 予算額 (千円)	R8 事業計画	R8 予算額 (千円)
12	市民福祉課	基本方針(3) コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進	くしびき温泉ゆ〜Town 活性化事業	<p>○販売促進事業 550千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 授乳・オムツ替えが出来るベビールームの設置とゆ〜たんエコバック(70個)、ゆ〜たんボールペン(100個)を作製した。 ▶施設のイメージアップとファミリー層の利用促進を図った。 <p>○健康増進事業 250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> R6に購入した卓球台を活用し、親子卓球教室を8回開催した。※親子卓球教室参加者60名(子ども33名、保護者27名) ▶ファミリー層の集客と市民の健康増進を図った。 	800	<p>○利用促進事業 676千円</p> <p>利用者の拡大と、情報発信力の強化により収益性の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 新規利用者誘客策 <ul style="list-style-type: none"> ベビールームを活用した託児入浴の試験的实施(年4回) ファミリー卓球教室の開催(計4回) スリッパ卓球大会の開催(冬期間・1回) 卓球ポイントカード企画の実施(リピート利用促進) 既存客の利用促進策 <ul style="list-style-type: none"> ゆ〜たんオリジナルスイーツの考案(地域の菓子店と連携) 情報発信力の強化(①と②の効果を最大化) <ul style="list-style-type: none"> 組合公式SNSなど既存のプラットフォームを効果的に活用(予算の計上なし) 	676
13	産業建設課	基本方針(1) フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上	くしびき秋の大感謝祭事業	<p>くしびき秋の大感謝祭の開催を支援した。</p> <p>事業主体：くしびき夏まつり実行委員会(出羽商工会楡引支部、JA庄内たがわ楡引支所、楡引観光協会)</p> <p>開催月日：令和7年9月5日(土)</p> <p>会場：楡引総合運動公園</p> <p>参加者：2,000人</p>	180	楡引地域住民が集う「くしびき秋の大感謝祭」について、住民交流による賑わいの創出を図る事業として支援する。	200
					12,396	事業費小計	11,493
	総務企画課		地域まちづくり未来事業(楡引) 会計年度任用職員	未来事業を補助するための会計年度任用職員の雇用	3,103	未来事業推進員1名	3,534
					15,499	未来事業(ソフト)合計(人件費含む)	15,027

■ 公共施設利用料金等の改定について

令和8年10月1日施行

No	施設名	改定比較			改定率	備考
		区分	旧	新		
1	黒川能の里王祇会館	開館時間	午前8時30分	午前9時	10%	第7条
		使用料（多目的ホール）	1,050円/h	1,150円/h		別表第1
		使用料（研修室、視聴覚室ほか）	520円/h	570円/h		〃
		宿泊料（一般 1人1泊）	480円	520円		〃
		鑑賞料（一般）	400円	440円		別表第2
		鑑賞料（団体 一般）	360円	390円		〃
		年間鑑賞券	3,000円	3,300円		〃
2	櫛引生涯学習センター	基本使用料（多目的ホール）	午前 3,200円	1,540円/h	30%	別表（第10条関係）
			午後 4,700円			
			夜間 8,000円			
			全日 15,000円			
		基本使用料（調理室）	午前 800円	320円/h		〃
			午後 900円			
			夜間 1,700円			
			全日 2,700円			
		基本使用料（第1研修室）	午前 1,500円	580円/h		〃
			午後 1,700円			
			夜間 2,800円			
			全日 5,000円			
		基本使用料（第2研修室）	午前 1,500円	580円/h		〃
			午後 1,700円			
			夜間 2,800円			
			全日 5,000円			
		基本使用料（第1・2研修室）	午前 1,700円	660円/h		〃
			午後 1,900円			
			夜間 3,200円			
			全日 5,800円			
		基本使用料（講座室）	午前 1,700円	660円/h		〃
			午後 1,900円			
			夜間 3,200円			
			全日 5,800円			
		基本使用料（会議室）	午前 700円	280円/h		〃
			午後 800円			
			夜間 1,500円			
			全日 2,500円			
基本使用料（控室）	午前 700円	280円/h	〃			
	午後 800円					
	夜間 1,500円					
	全日 2,500円					
3	櫛引農村環境改善センター （櫛引生涯学習センター）	基本使用料（多目的ホール）	午前 3,200円	1,540円/h	30%	別表（第7条関係）
			午後 4,700円			
			夜間 8,000円			
			全日 15,000円			
		基本使用料（調理室）	午前 800円	320円/h		〃
			午後 900円			
			夜間 1,700円			
			全日 2,700円			
		基本使用料（第1研修室）	午前 1,500円	580円/h		〃
			午後 1,700円			
			夜間 2,800円			
			全日 5,000円			
			（空欄）			

No	施設名	改定比較			改定率	備考
		区分	旧	新		
3	櫛引農村環境改善センター (櫛引生涯学習センター)	基本使用料 (第2研修室)	午前 1,500円	580円/h	30%	別表 (第7条関係)
			午後 1,700円			
			夜間 2,800円			
			全日 5,000円			
		基本使用料 (第1・2研修室)	午前 1,700円	660円/h		
			午後 1,900円			
			夜間 3,200円			
			全日 5,800円			
		基本使用料 (講座室)	午前 1,700円	660円/h		
			午後 1,900円			
夜間 3,200円						
全日 5,800円						
基本使用料 (会議室)	午前 700円	280円/h				
	午後 800円					
	夜間 1,500円					
	全日 2,500円					
基本使用料 (控室)	午前 700円	280円/h				
	午後 800円					
	夜間 1,500円					
	全日 2,500円					
宿泊料 (高校生以下 1人1泊)	260円	330円				
宿泊料 (その他 1人1泊)	520円	670円				
4	櫛引情報センター	基本使用料 (研修室)	昼間 310円/h	350円/h	13%	別表 (第10条関係)
			夜間 480円/h			
		基本使用料 (会議室兼視聴覚室)	昼間 310円/h	350円/h		
			夜間 480円/h			
5	ケーブルテレビジョン	加入金	36,000円	42,400円	18%	第16条第2項
		利用料金 (月額)	1,360円	1,560円	15%	第21条第2項
6	高齢者活動センター	基本使用料 (制作展示室)	昼間 310円/h	昼間 340円/h	12%	別表 (第6条関係)
			夜間 480円/h	夜間 530円/h		
		基本使用料 (楽焼室)	昼間 150円/h	昼間 160円/h		
			夜間 180円/h	夜間 200円/h		
楽焼用ガス窯使用料 (1回)	2,750円	3,080円		別表 備考		
7	ほのかたらのきだい	宿泊料 大人 (中学生以上 1人1泊)	3,350円	3,500円	5%	別表 (第8条関係)
		宿泊料 子供 (小学生以下 1人1泊)	2,300円	2,400円		
		休憩料 (研修室)	1日 4,190円	550円/h		
			半日 2,090円			
			夜間 2,090円			
		休憩料 (交流室)	1日 4,190円	550円/h		
			半日 2,090円			
			夜間 2,090円			
		休憩料 (学習室)	1日 2,090円	280円/h		
			半日 1,040円			
夜間 1,040円						
暖房料 (小部屋)	520円	540円				
暖房料 (大部屋)	1,040円	1,080円				
8	櫛引たらのきだいスキー場	1回券 (大人)	220円	250円	15%	別表 (第5条関係)
		1回券 (小人)	150円	150円		
		11回券 (大人)	2,200円	2,500円		
		11回券 (小人)	1,300円	1,300円		
		1日券 (大人)	2,900円	3,300円		
		1日券 (小人)	2,000円	2,000円		
		高校生1日券	—	2,000円		

No	施設名	改定比較			改定率	備考
		区分	旧	新		
8	櫛引たらのきだ이스キー場	4時間券(大人)	2,000円	2,300円	15%	別表(第5条関係)
		4時間券(小人)	1,200円	1,200円		"
		高校生4時間券	—	1,200円		"
		ナイター券(大人)	2,000円	2,300円		"
		ナイター券(小人)	1,000円	1,000円		"
		シニアナイター券	1,300円	1,400円		"
		レディースナイター券	1,300円	1,400円		"
		高校生ナイター券	—	1,000円		"
		シーズン券(大人)	20,400円	23,400円		"
		シーズン券(小人)	10,200円	10,200円		"
		2日フリー券(大人)	3,800円	4,300円		"
		2日フリー券(小人)	2,500円	2,500円		"
		ファミリー1日券(大人 1人)	2,300円	2,600円		"
		ファミリー1日券(小人 1人)	1,600円	1,600円		"